

2月5日 新入生説明会あいさつ

4月から板倉中学校へ入学する皆さん、ようこそ。校長の藤田です。宮島小、山部小の皆さんとは閉校記念式で、針小と豊原小の皆さんとは、メディアとSNSの講演会で会っていますね。私だけではなく、いじめ見逃しゼロスクール集会での皆さんの立派な最上級生ぶりに感心した中学校の職員は、皆さんの入学を心待ちにしています。

そして、中学校でどのような教育活動を行えば、皆さんの学力や体力、望ましい人間関係をつくる力、一人一人のよいところといった資質や能力を一層伸ばし、充実した楽しい3年間の中学校生活になるのかについて、職員全員での相談を積み重ねてきました。どうぞ安心して入学の日を迎えてください。

さて、6年生の皆さん、中学生時代とは、人生の中でどんな時代でしょうか。小学生時代と何が変わるのでしょうか。勉強や部活動などはこれから説明がありますので、それ以外でどうでしょう。

すぐに思いつくのは、あらゆる場面で大人料金となることです。電車やバスの乗車料金やホテルの宿泊費、海外に行くためのパスポートの申請料から、遊園地等の乗り物、食べ放題レストランも中学生から大人料金のところがほとんどです。パスポートの申請は、小学生と中学生では5000円も違いますので、コロナ禍でなければ、小学生のうちにパスポートをとって海外旅行に行きたかったなど残念に思う人もいるかもしれません。このような料金システム一つとっても、社会が中学生を大人と同じように扱うことが分かります。

もう一つ、例を挙げるとすると、「転ばぬ先の杖」を自ら準備することが必要になることです。「転ばぬ先の杖」ってどういう意味でしょう。説明できる人？…さすが、卒業目の6年生ですね。「転ぶ前に用心して手に杖を持つべきということ。失敗しないように、万が一に備えてあらかじめ十分な準備をしておくこと」です。これまでは、親や教師など、皆さんの周りにいる大人が、先回りして、杖を準備しておいてくれたはずですが。例えば、今年の夏は酷暑で39度の日が続きました。熱中症にならないように、たくさんの指導や助言を、家族や小学校の先生方からいただいたはずですが。板倉中では、生徒会の保健委員が、連絡ボードに気温・湿度計を設置して、それを見て生徒が自ら熱中症予防を行うよう呼びかけました。また、登校前に自宅で天気予報をチェックして水筒の水を多めに持ってくるなど、適切な判断をした生徒もいます。

そして、そもそも熱中症のように命にかかわるようなことでなければ、転んでよいのです。失敗を恐れることはありません。失敗から学ぶことはたくさんあります。中学生時代は、人生で大切な、挫折や失敗の経験を積み重ね、大人に成長する時です。言い換えれば、失敗をバネに成功体験を積み上げ、大人になる大切なプロセスなのです。板倉中職員は、皆さんがそうして大人に成長していく姿に出会えることを楽しみにしていますよ。

最後に保護者の皆様、お子様のご入学に際して、期待とともに不安もおありのことでしょう。板倉中職員は、子供たちの指導・支授者であると同時に、保護者の皆さんの応援団でもあります。ご不明なことがありましたら、どうぞ気軽にお問い合わせください。

3年後、卒業を迎える「15歳の春」に、子供たちが地域を支えることのできる、立派な社会の一員として胸をはって堂々と巣立ちゆくように、家庭、地域、学校が一緒に、手塩にかけて、子供たちを育くんでまいりましょう。本日はその第一歩を記す日です。どうぞよろしくお祈りします。